

# 世界に開かれた 持続可能な観光地

## 田辺・熊野を目指して

開催  
日時

平成30年  
7月20日(金)  
~22日(日)

聖地巡礼。世界遺産「熊野古道」  
に外国人旅行者が急増している。  
その集客の秘訣とは？  
インバウンドの先進地、  
和歌山県田辺市から学ぶ。

地方創生実践塾 in 和歌山県田辺市

### 主任講師



多田 稔子 氏

一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長

2006年に設立された、田辺市内5つの観光協会に組織する「田辺市熊野ツーリズムビューロー」の会長に就任。熊野古道エリアを「世界に開かれた上質で持続可能な観光地」とすることを目指して活動している。和歌山県景観審議会委員、和歌山大学観光教育アドバイザーなどを務める。

### 講師



2000~2004年にかけて和歌山県世界遺産登録推進室長を務める。その後、和歌山県世界遺産指導員を経て、2007年から現職に就任。

辻林 浩 氏

和歌山県世界遺産センター センター長



坂本 勲生 氏

熊野本宮語り部の会 会長

本宮町立三里中学校長退職後、本宮町史編さん室長、本宮町文化財保護委員会委員長を歴任。一方、熊野古道の語り部の第一人者として活動、現職となる。



ブラッド・トウル 氏

一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー プロモーション事業部長

2006年より、田辺市熊野ツーリズムビューロー国際観光推進員、プロモーション事業部長として、同エリアの魅力発信、受入地のレベルアップに取り組む。

【問合せ先】 一般財団法人地域活性化センター 地域創生課

TEL: 03-5202-6136

FAX: 03-5202-0755

E-mail: [chiiki@jcrd.jp](mailto:chiiki@jcrd.jp)

Web: <https://www.jcrd.jp/>

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階



一般財団法人  
地域活性化センター  
Japan Center for Regional Development

主催：一般財団法人地域活性化センター 共催：田辺市 後援：総務省、内閣府、和歌山県

裏面  
あり



7/20~22開催 地方創生実践塾 in 和歌山県田辺市

- 対象 地域づくりに興味のある方（公務員、NPO、任意団体、企業、学生等どなたでも）
- 定員 40名（定員に達しましたら締め切らせていただきます）
- 会場 田辺市文化交流センター「たなべる」ほか
- 実践塾スケジュール（予定）

◆7月20日（金）

- 13：30 開講式（田辺市文化交流センター「たなべる」）
- 講義1「熊野古道に外国人観光客を呼び込む着地型観光」  
多田 稔子 氏（(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長）
- パネルディスカッション「新たなまちづくりへの挑戦-観光×仕事で持続可能な地域を創ろう-」  
コーディネーター 鍋屋 安則 氏（「たなべ未来創造塾」事務局/田辺市企画部たなべ営業室 主任）  
パネリスト 中村 文雄 氏（LLPタモリ舎 代表）  
小竹 治安 氏（霧の郷たかはら オーナー）
- フィールドワーク1「市街地エリア視察」
- 交流会（200軒以上の飲食店が並ぶ和歌山県内有数の飲食街「味光路」内）

◆7月21日（土）

- バス移動（田辺→本宮）
- 講義2「世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について」  
辻林 浩 氏（和歌山県世界遺産センター センター長）
- 講義3「世界遺産保全の取組」  
坂本 勲生 氏（熊野本宮語り部の会 会長）
- フィールドワーク2「熊野古道エリア視察」（古道ウォーク/約4km、道普請の体験）
- バス移動（本宮→田辺）

◆7月22日（日）

- ワークショップ「インバウンドに求められるおもてなし」  
多田 稔子 氏（(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長）  
ブラッド・トウル 氏（(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー プロモーション事業部長）
- 12：30 閉講（解散）

※内容が変更となる場合があります。なお、講義タイトルは仮題ですのでご了承ください。  
※宿泊は各自でお手配ください。（集合、解散は田辺市文化交流センター「たなべる」です）

◆お申込にあたって 【必ずご確認ください】

実践塾の受講は、地域活性化センターの個人賛助会員に対するサービスの一環です（他に機関紙配布、メルマガ配信等のサービスがあります。詳しくは<https://www.jcrd.jp/>）。このため受講を希望する場合、個人賛助会員になっていただく必要があります。

個人賛助会費は【地方創生実践塾地方版L会員10,000円】です。連絡なしの不参加や当日キャンセル等の場合は返金できかねますので、ご注意ください。

なお、開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等は別途ご負担となります。

★ 地方創生実践塾 in和歌山県田辺市（7/20~22）参加申込書 ★

FAX：03-5202-0755 【HPにも申込フォームがあります⇒<https://www.jcrd.jp/>】  
E-mail：chiiki@jcrd.jp （件名を「実践塾田辺市申込」とされ、本文に以下の各事項をご記入ください）  
※ご記入いただいた個人情報については、当センターからの事務連絡のほか、各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。

|                                          |                                                |              |                   |               |                  |
|------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------|-------------------|---------------|------------------|
| フリガナ                                     |                                                | 生年月日<br>(西暦) |                   | 性別            | 男 / 女<br>(○印で囲む) |
| 氏 名                                      |                                                |              |                   |               |                  |
| 勤務先等<br>住所                               | 〒                                              |              | 勤務先<br>団体<br>学校名等 |               |                  |
| E-mail                                   | @                                              |              | TEL               | <確実に連絡が取れる番号> |                  |
| 1日目交流会                                   | 参加（4,500円程度予定） / 不参加（希望を○で囲む）                  |              |                   |               |                  |
| 2日目昼食                                    | 参加（1,000円程度予定） / 不参加（希望を○で囲む）                  |              |                   |               |                  |
| 請求書<br>個人賛助会費：地方創生実践塾<br>地方版L会員 1万円 ※1回分 | 要（宛名： ） / 不要<br>(○印で囲む。請求書が必要な場合、宛名を記入してください。) |              |                   |               |                  |
| 備 考                                      |                                                |              |                   |               |                  |